

## 浜甲子園団地なぎさ街の新しい棟が完成!

URの新しい棟、浜甲子園エリアの開発についてインタビューさせていただきました。



△UR都市機構 西日本支社 ストック事業推進部  
事業第1課 寺岡由佳さん(右)、事業第3課 玉田真悠さん(左)

新しい棟の入居も始まり、街がどんどんできてきましたね。改めて浜甲子園エリアの特徴を教えてください。

まちなね

浜甲子園エリアの特徴として、エリアの東西を繋ぐ形で歩いていても楽しい緑道、プールパールがあります。建物も全体的な統一感があり、URと分譲マンション、分譲戸建エリアが自然に融合しているとても貴重な場所と言えます。  
UR内にはたくさんの芝生や遊歩道があり、居住スペースの移動もお散歩コースになります。また、URの敷地内ですが、建物と道路の幅を広く取っていて、実質歩道のように歩くことができ、生活をする方が圧迫感を感じずゆったりと過ごせる作りになっています。

UR

確かに、新しい棟の前の歩道が広くなり、すごく歩きやすくなったと色んな方がおっしゃっていました。歩道が狭い交差点だったので、住んでる方の安心感に繋がっていると思います。新しい棟の内見もさせていただき、とても近代的で団地という概念が変わりました。設計時になにか意識されたことはありますか？

まちなね

時代と共に必要な住性能も増えてきており、新しいものを取り入れるようにしています。今回は宅配ボックスの設置や、室内の景観にもボックスカーテンを採用するなど、先を見据えて導入を決めていました。

UR



△新なぎさ棟の宅配ボックス

新しいという意味で言うと、さくら街にはペット共生住宅があり、とても気になっています。調べたところ、ペット共生住宅はとても少なかったのですが、需要はやはり高いのでしょうか？

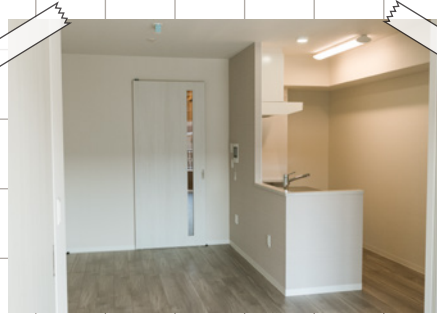
まちなね

ペット共生住宅のお問い合わせは多く、空きが出てすぐ入居が決まるケースが多いです。このペット共生住宅は西日本ではめずらしく、賃貸でもペットと暮らしたいという需要に応えられているのかと思います。実はペットを飼ってない方もたくさん住まわれていて、自身は動物が好きだけど年齢的に飼育が難しく、ご近所さんのペットを通じて、それがおしゃべりのきっかけになるというペット共生住宅ならではのコミュニケーションも生まれているようです。

UR

この辺りはペットのお散歩コースとしても適していますよね。ご近所さんのペットコミュニティを見ていてとても微笑ましいです。ぜひ聞いてみたいという声が多かったのが、さくら街、なぎさ街という名前の由来です。この名称の由来はなにかあるのでしょうか？

まちなね



△新なぎさ棟の内装

さくら街・なぎさ街というのは自治会の方たちとワークショップで決めました。カタカナではなくひらがなの名前で、その街の特性を活かしており、誰もが覚えられる名称として、今ではすっかり定着しているようです。さくら街のさくらは、建て替え前の植樹をそのまま活かしているんです。なぎさ街にはフェニックスという大きなヤシの木があったり、街の名前と浜甲子園の特性を活かしてみなさん愛着をもってくださるように感じます。

UR

公園やヤシの木は街のシンボリック的存在になっていますね。そういう意味では、レトロな給水塔もみなさん気になっているようです。給水塔は現在も使われているんでしょうか？また、開発当初思い描いていた街の形になってきてますでしょうか？

まちなね



△新なぎさ棟の入口

給水塔、住み替えが終わるまではずっと使われていくんですよ。浜甲子園の開発計画は20年も前から進んできており、色んな人の想いが引き継がれ描いていた街になりつつあると思います。ご近所コミュニティが衰退しつつある昨今でも、特に浜甲子園団地自治会が活動的で、夏祭りを行なっている団地もとても少なくなっていました中에서도、あの規模のお祭りを続けていただいていることはとても貴重だと思います。そして新街区のまちなね浜甲子園があって、ソフト面でも良い街になっていると思います。

UR

愛着を持って長く住んでる方も多く、新しい分譲エリアに越してこられたファミリーもとてもこのエリアを気に入ってくれていますね。色んな方の想いが詰まったエリアなんだと改めて感じました。最後に、お二人の浜甲子園の好きなところを教えてください。

まちなね

団地中央広場やOSAMPO BASEがとても気に入っています。カフェの中から見える広場でお子さんが遊んでいた、シニアの方が休憩している光景がとても印象的でした。この広場が人で賑わう夏祭りや、まちなねピクニックの開催も待ち遠しいです。

寺岡さん

歩いていると、いろんな発見があるところですかね。プールパールの樹木や、芝生や公園などオープンなスペースが多く、開発に関わってくれた方みんなが丁寧に街を作ってくれているんだと感じます。

玉田さん



△インタビュー風景

撮影: 中谷紀美子

## 浜甲子園団地の集会所でこんなことやってるよ〜♪

建物の建て替えにより、集会所もすごく明るくて開放的になっています。集会所で行われている、サークルや教室を一部紹介します。

|              | 集会所名        | 開催日     | 問い合わせ                         |
|--------------|-------------|---------|-------------------------------|
| 浜っこひろば       | 中央集会所       | 第3(火)   | 西宮市社会福祉協議会地域福祉課(0798-23-1140) |
| いきいき体操(さくら街) | さくら集会所(1号棟) | 毎週(水)   | 三澤(090-5152-4840)             |
| 環パレ工団 甲子園教室  | 中央集会所       | 毎週(水)   | 環パレ工団(06-6358-0555)           |
| いきいき体操(なぎさ街) | なぎさ街東集会所    | 毎週(木)   | 室崎(090-9214-2303)             |
| 民謡           | 中央集会所       | 毎週(木)   | 樋口(080-2487-3365)             |
| DANCE AILES  | なぎさ街東集会所    | 毎週(木)   | 三宅(090-9983-3783)             |
| 健康太極拳サークル    | なぎさ街東集会所    | 第1・3(木) | 渡邊(0798-45-1851)              |



△さくら集会所



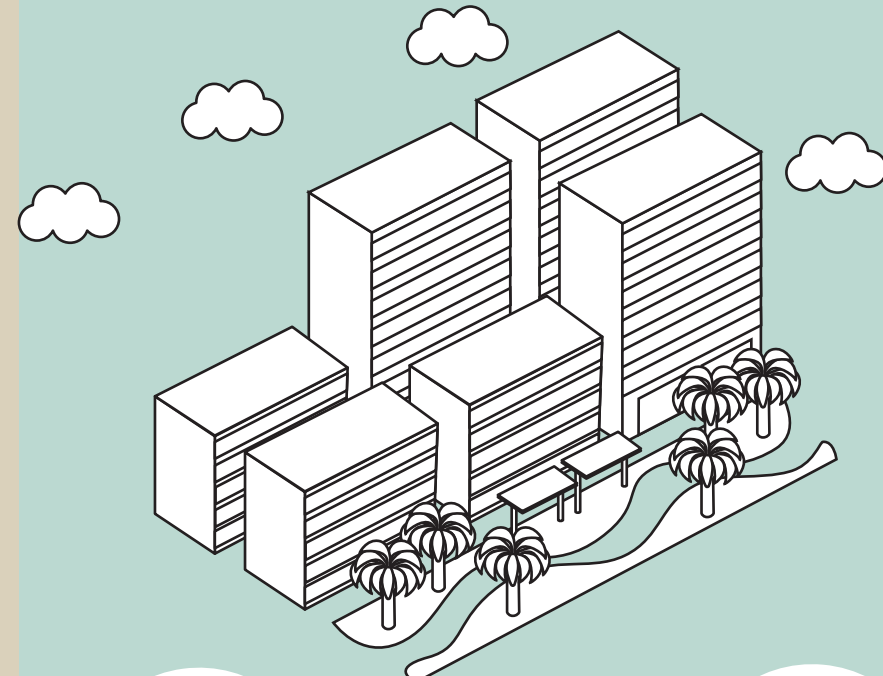
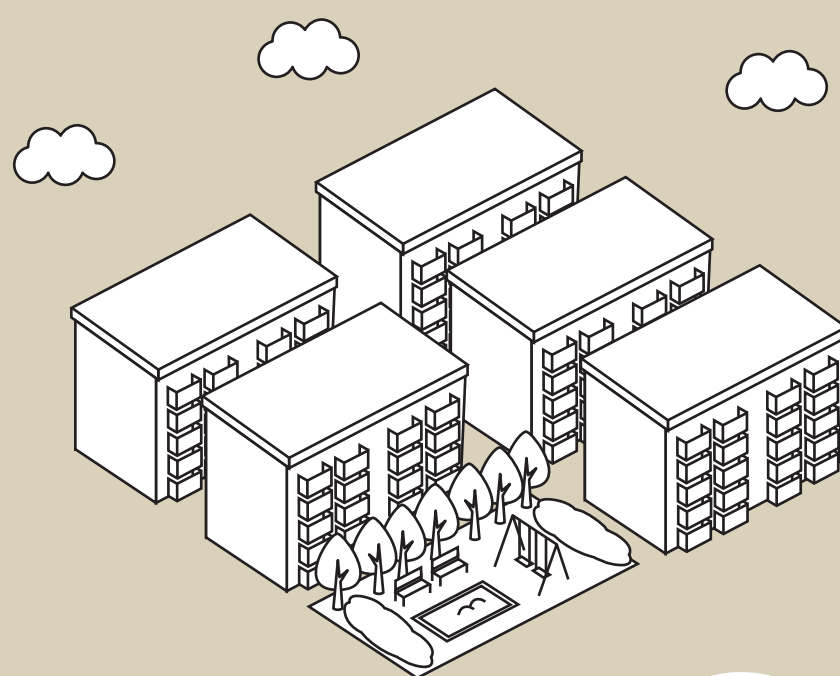
△なぎさ街集会所

## 団地住民の昔と今

浜甲子園団地は、1962年から入居がはじまり、150棟4,613戸の住宅に約1万人が暮らす関西でも有数の大規模団地です。現在でも多くの方が住み続けており、そんな方々に「**浜甲子園に住み続ける理由**」を聞いてみました。

入居当初1962年～

現在2022年



サークル活動や  
子供会などが  
活発

近隣の方が  
ベランダ越しに  
声かけてくれて  
安心

静かで住みやすく  
同世代がたくさん

家からの見晴らしが  
良くなって嬉しい

長く住んでいるから  
知り合いがたくさん

庭で育てていた  
草花を、小学校で  
引き取ってくれて  
嬉しい

これからも  
きれいになった街で  
地元を楽しみたい

新しくしっかりした  
建物で、津波や  
地震も安心

新しいお風呂や  
オートロックの操作に  
慣れず対応に  
時間がかかる

